

岩手県立大学 社会福祉学研究科 博士前期課程 アセスメント・ポリシー

【ディプロマ・ポリシー】

No	内 容（学生が身につけるべき能力）
DP1	高度で専門的な知識とリサーチ及びマネジメント技法に関する能力を修得し、国、地方等各レベルの行政機関において福祉ニーズの把握、福祉計画の立案、福祉政策の実施・評価を担うことができる。
DP2	企業、地域社会、国際社会などの各方面における新たな福祉課題や対応について研究開発を行い、変動する地域や企業の福祉需要に対して専門知識をもとに貢献ができる。
DP3	高齢者、障害者、児童及び生活上の支援を要する福祉臨床の実践の中で、複雑化・多様化するニーズに対して高度な知識と福祉臨床技法とを応用できる。
DP4	学校、家庭、地域社会、職場で発生する多様な心理的問題に対応するために、クライアントの社会的状況と心理的過程をふまえて、専門的理論と援助技術に基づいて臨床心理学的援助を提供できる。
DP5 (社会人)	福祉実践の場や関連領域での福祉業務に携わっている社会人が、それぞれの専門領域の知識、技術を高度化するために生ずる学際的な研究ニーズをもちつつ、その分野において補完すべき知識を求めて社会福祉研究を進めることができる。
DP6	社会福祉の理論、課題、方法等に問題意識を持ち、福祉専門職の視点と方法を学術的に精緻化するために博士課程等へ進学を目指す研究志向性を持つことができる。

【アセスメントの実施計画】

	項目	方法	時期	対応 DP		結果の活用（公開方法）	実施者
				総合福祉	臨床心理		
1 年次	基盤科目群 GPA	科目群の平均 GPA	1 年後期	5, 6	6	院生の学修達成度の把握、学修目標の修正および研究科教育の改善	社会福祉学研究科
	方法論科目群 GPA	科目群の平均 GPA	1 年後期	1	1	〃	〃
	領域研究科目群 GPA	科目群の平均 GPA	1 年後期	2, 3, 5	2, 3, 4	〃	〃
	実習科目群の GPA	科目群の平均 GPA	1 年後期	5		〃	〃
2 年次	理論研究科目群の GPA	科目群の平均 GPA	2 年後期	1, 3, 5, 6	3, 4, 6	院生の学修達成度の把握、学修目標の修正および研究科教育の改善	社会福祉学研究科
	課題研究科目群の GPA	科目群の平均 GPA	2 年後期	1, 2, 3, 5	3, 4	〃	〃
	実習科目群の GPA	科目群の平均 GPA	2 年後期		4	〃	〃
	研究指導 II (または学位論文)	ルーブリック	2 年後期	6	6	〃	〃
	修了時アンケート調査	福祉実践と学修の関連	修了時	5, 6	6	福祉実践と学修成果の関連性の把握と研究科教育の改善	〃